

# 民族学

[ 目次 ]

| 開館40周年記念特集 |

- 003 **民博の展示がめざすもの**
- 展示をささえる  
理念・研究・技術**
- 007 民博の展示のこれまでとこれから  
吉田 憲司
- 019 本格的な  
博物館プランニングへの挑戦  
岩城 晴貞
- 031 民博の舞台裏  
——資料の活用と保存の両立をめざして  
園田 直子
- 043 略年表 展示のあゆみ
- 展示に探る  
民族の世界観・死生観**
- 049 ルーマニアのガラスアイコンと陽気な墓  
新免 光比呂
- 057 故郷をめざす船  
——トラジャの穀倉  
佐藤 浩司
- 067 カザフの子育て  
——ゆりかごのむこうに広がる世界  
藤本 透子
- 075 異界と人をつなぐモノたち  
北原 次郎太
- 083 民博をささえるさまざまな活動  
——千里文化財団 この40年間のあゆみ
- 089 生活必需品から文化と近代化を考える [2]  
「みずまわり」にみる  
暮らし・意識・身体感覚の変化  
——インドネシアの生活用品基礎調査から  
金子 正徳
- 099 梅棹アーカイブズから  
民博の展示基本構想の参考となった  
ヨーロッパの博物館視察  
久保 正敏
- 101 印東道子・白川千尋・関雄二編  
『フィールドワーク選書』全二〇巻  
編者が語る読みどころ(4)

表紙 トーテムポールが見た 40 年  
文・写真＝編集部

写真提供・協力  
国立民族学博物館、伊藤敦規、大阪府、朝日新聞社、トータルメディア  
開発研究所、須井隆行、エスバ、阿寒アイヌ協会

本文中、撮影者・提供者を記載していない写真は執筆者の撮影・提供  
によるものです。